

構造と動作

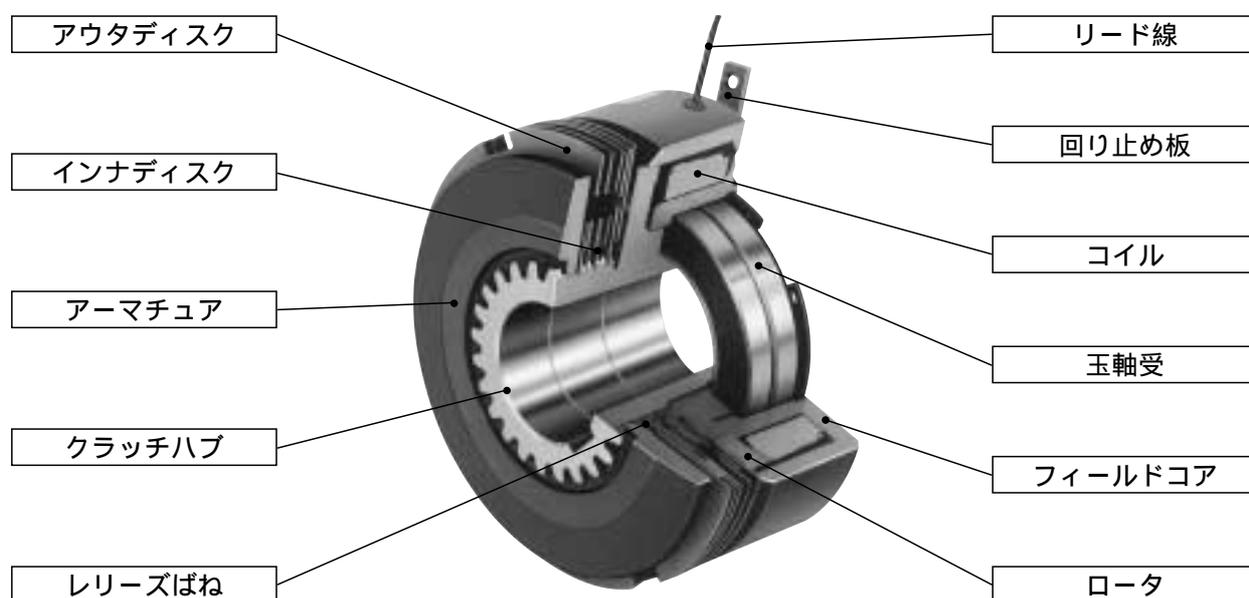
MWC形クラッチは、ロータと一体となったクラッチハブのスプラインにインナディスク、アウトディスク及びリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングをセットして動力を取り出します。

MWB形ブレーキはフィールドに固定されたカップリングにアウトディスクとインナディスクを交互に入れ最後にアーマチュアをセットした

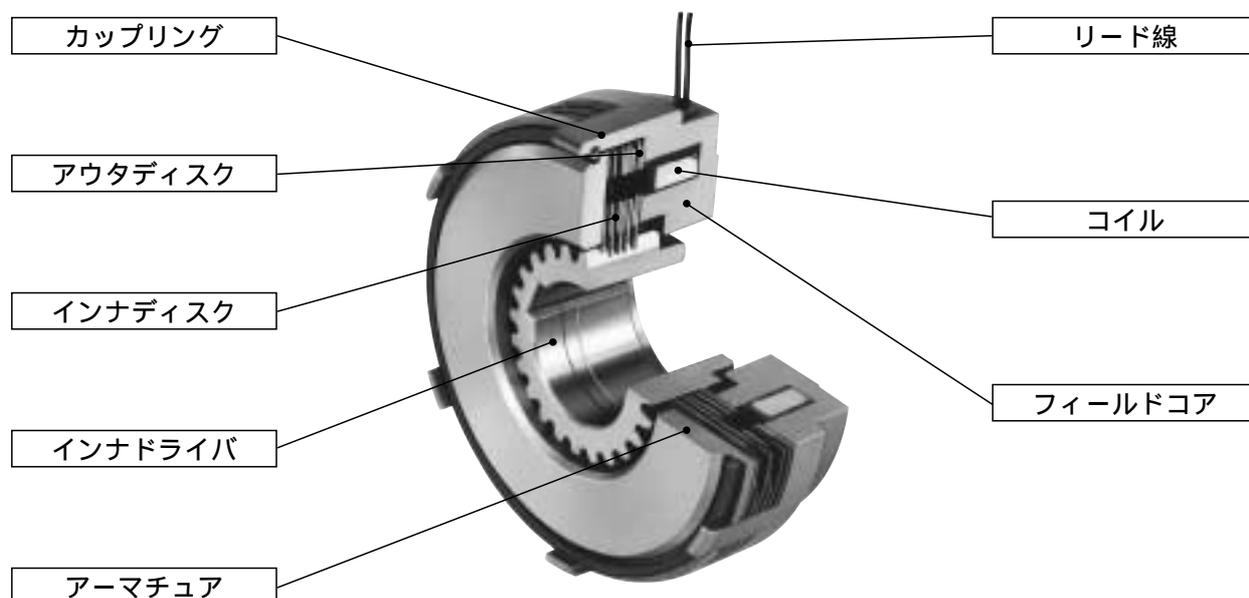
もので、インナディスクのスプラインにインナドライバがかん合しています。

コイルに通電すると、フィールド、ロータ、ディスク及びアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュア及びディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切るとリリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。

ブレーキの動作も同様です。



MWC形 クラッチ



MWB形 ブレーキ